

科目名 (科目番号)	がん医療科学 (時間割参照)	教員名 本間 光彦	学科等	診療放射線	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		前期水 ¹ 後期木 ¹	B316研究室	
授業概要	がんの性質と動態を理解し、がん医療の概念と基礎理論に関して生命科学の観点から講義を行う。日本人の3大死因を占めるがんに対する医療に関して、その科学的基礎は医療関係者にとって必要不可欠な基礎医学となる。本講義では、がんがどのように発生・増殖・進展し、ついで転移・再発するかを理解し、それに基づいて、いかなる各種がん治療が行われているかを幅広く総合的に把握し、さらに、がん診断・予防などの医療も含めて、その基礎理論と概念に関して生命科学の視点から理解と知識を深める。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	正常細胞の増殖と死①	到達目標: 正常細胞の恒常性の維持機構、エネルギー産生法について理解する。 学習内容: 正常細胞の恒常性・エネルギー産生について学習する。				
	2	正常細胞の増殖と死②	到達目標: 正常細胞の増殖機構、細胞死の制御機構について理解する。 学習内容: 正常細胞の増殖機構と死について学習する。				
	3	がん細胞の増殖と死①	到達目標: がんの特徴・増殖、がん細胞の細胞死機構の変化について理解する。 学習内容: がんの特徴とがん細胞の増殖機構について学習する。				
	4	がん細胞の誕生と死②	到達目標: 遺伝子の変異をもたらす原因について理解する。 学習内容: がんの原因について学習する。				
	5	がん細胞の転移	到達目標: 人はどのようにがんで死亡するのかを理解する。 学習内容: がん細胞の転移について学習する。				
	6	がんの診断	到達目標: 腫瘍マーカー、細胞診、画像診断、遺伝子検査について理解する。 学習内容: がんの診断(腫瘍マーカー、細胞診、画像診断、遺伝子検査)について学習する。				
	7	がんの治療	到達目標: 手術療法、放射線療法、化学療法、先端治療法について理解する。 学習内容: がんの治療(手術療法、放射線療法、化学療法、先端治療法)について学習する。				
	8	がんの予防	到達目標: がんのリスク要因(化学物質、放射線、たばこ、ウイルス、遺伝子)について理解する。 学習内容: がんのリスク要因からがんの予防について学習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	やさしい腫瘍学ーからだのしくみから見る”がん”		小林正伸		南江堂		
参考図書							
教員からのメッセージ	がん(悪性腫瘍)について理解するためには、まず、正常細胞の増殖機構と細胞死について理解することが重要です。がんの特徴を理解して、がんの診断・治療そして予防について学びます。しっかり予習と復習を行って授業に臨んで下さい。						